

高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 工業 科目 工業技術基礎

教科：工業 科目：工業技術基礎 単位数：4 単位

対象学年組：第1学年 D組～組

教科担当者：（D組：有村）（D組：岩田）（D組：古川）

使用教科書：（工業技術基礎、プロダクトデザインのための製図）

教科 工業 の目標：

【知識及び技能】画像処理ソフト、基礎製図、色彩など、ものづくりにおいて基礎的技術を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】課題に対して深く考え、適切な表現方法を判断するとともに、多角的な観点で制作する力を培わせる。

【学びに向かう力、人間性等】課題制作に意欲的に取り組み、社会とのつながりを意識した姿勢づくりを身に付ける。

科目 工業技術基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
色彩についての知識や表現方法について学び、画像処理ソフトの基礎的技術、活用方法を習得する。基礎製図は道具の扱い方から図面の描き方を学び、図学を知る。	それぞれの作品の完成度や表現方法を高める技術を活かし、思考力・判断力・表現力を身に付ける。その他の制作作業の応用として自信で考え展開できるよう繋げる。	課題制作に意欲的に取り組み、社会とのつながりを意識した姿勢づくりを身に付ける。対象者を考慮したものづくりや社会情勢を考える力など意識づくりを持たせる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	A 単元 【知識及び技能】 道具の扱い方、線種の理解 【思考力、判断力、表現力等】 適切な道具の選択、扱う技術 【学びに向かう力、人間性等】 丁寧な仕上げの心掛け	○製図・表示 道具の扱い方、線の描き方、線の種類	【知識・技能】 線の種類を理解し、描き分けできている。 【思考・判断・表現】 道具の使い方を工夫し、線を描くことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 線を描き分けることにより伝え方が変わることを理解し、実践できている。	○	○	○	5
	B 単元 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	○製図・表示 第三角法による図面	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	8
	C 単元 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	○製図・表示 一消失点透視図法、二消失点透視図法	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	8
	D 単元 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	○製図・表示 レンダリング	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	7
2 学 期	A 単元 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	○平面構成	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	5
	B 単元 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	○平面構成	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	8
	C 単元 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	○平面構成	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	8
	D 単元 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	○平面構成	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	7
3 学 期	A 単元 【知識及び技能】 道具の扱い方、CGの理解 【思考力、判断力、表現力等】 適切な道具の選択、扱う技術 【学びに向かう力、人間性等】 丁寧な仕上げの心掛け	○コンピュータ CGの種類と特徴 描画方法の基本	【知識・技能】 CGの種類を理解し、描き分けできている。 【思考・判断・表現】 道具の使い方を工夫し、CGを描くことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 デジタル描画の特徴を理解し、適切な視覚伝達表現が実践できている。	○	○	○	5
	B 単元 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	○コンピュータ 基本図形とデザイン	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	8
	C 単元 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	○コンピュータ ロゴのデザイン	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	8
	D 単元 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	○コンピュータ トレーディングカードのデザイン	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	7

高等学校 令和6年度（１学年用） 教科 工業 科目 実習

教科： 0 科目： 実習 単位数： 6 単位

対象学年組：第 1 学年 D 組～ 組

教科担当者：（ D組：高野 ） （ D組：降矢 ） （ D組：尾引 ） （ D組：有村 ） （D組：伊良原 ）

使用教科書：（ ）

教科 0 の目標：

【知識及び技能】 デッサンや発想技術、レタリングや立体構成など幅広い分野において基礎的技術を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】 専門知識、思考法、素材の理解

【学びに向かう力、人間性等】 態度 積極的に活動する態度、自己を向上させようと努力する態度、仲間との協調・協力、諸活動の持続性

科目 実習	の目標：
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】
平面作品から立体作品まで幅広い分野の基礎的技術を身に付ける。また、発想の力を培わせるために基礎的課題を複数通して知識を深めるとともに技能を活かせるようにする。	それぞれの作品の完成度や表現方法を高める技術を活かし、思考力・判断力・表現力を身に付ける。その他の制作作業の応用として自信で考え展開できるよう繋げる。
【学びに向かう力、人間性等】	課題制作に意欲的に取り組み、社会とのつながりを意識した姿勢づくりを身に付ける。対象者を考慮したものづくりや社会情勢を考える力など意識づくりを持たせる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	【知識及び技能】 道具の扱い方、線種の理解 【思考力、判断力、表現力等】 適切な道具の選択、扱う技術 【学びに向かう力、人間性等】 丁寧な仕上げの心掛け	・立体構成：ボールバランス ・ドローイング： クロッキーに挑戦 ・色彩：色の三属性、表色系 ・レタリング：溝引き、 烏口の練習	【知識・技能】 道具の扱い方、線種の理解 【思考・判断・表現】 適切な道具の選択、扱う技術 【主体的に学習に取り組む態度】 丁寧な仕上げの心掛け]	○	○	○	18
2 学 期	【知識及び技能】 道具の扱い方、線種の理解 【思考力、判断力、表現力等】 適切な道具の選択、扱う技術 【学びに向かう力、人間性等】 丁寧な仕上げの心掛け	・立体構成：面材による立体造形 ・ドローイング：人体を知る ・色彩：ドミナントカラー配色 ・レタリング：和文書体 ・発想技術：テスト形式演習問題 ・デッサン：人体（手）の表現 ・造形素材：発泡素材、木材加工 ・レタリング：和文書体	【知識・技能】 道具の扱い方、線種の理解 【思考・判断・表現】 適切な道具の選択、扱う技術 【主体的に学習に取り組む態度】 丁寧な仕上げの心掛け]	○	○	○	24
3 学 期	【知識及び技能】 道具の扱い方、線種の理解 【思考力、判断力、表現力等】 適切な道具の選択、扱う技術 【学びに向かう力、人間性等】 丁寧な仕上げの心掛け	・発想技術：形態分析と表現 ・デッサン：石膏デッサン ・造形素材：発泡素材、木材加工 ・レタリング：欧文書体	【知識・技能】 道具の扱い方、線種の理解 【思考・判断・表現】 適切な道具の選択、扱う技術 【主体的に学習に取り組む態度】 丁寧な仕上げの心掛け]	○	○	○	24

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 単元 【知識及び技能】 デザインの領域 【思考力、判断力、表現力等】 各カテゴリーの目的の理解 【学びに向かう力、人間性等】 社会の中で実際に発見する能動性	・指導事項 デザインの領域 ・教材 PP、一部プリント、一人1台端末 末の活用	【知識・技能】 各領域と社会の中のデザイン活動を知る 【思考・判断・表現】 各領域の目的を理解する 【主体的に学習に取り組む態度】 実際に観察して理解を深め、興味・関心を持つ	○	○	○	5
	定期考査		なし				
	A 単元 【知識及び技能】 デザインの領域 【思考力、判断力、表現力等】 各カテゴリーの目的の理解 【学びに向かう力、人間性等】 社会の中で実際に発見する能動性	・指導事項 デザインの領域 ・教材 PP、一部プリント、一人1台端末 末の活用	【知識・技能】 各領域と社会の中のデザイン活動を知る 【思考・判断・表現】 各領域の目的を理解する 【主体的に学習に取り組む態度】 実際に観察して理解を深め、興味・関心を持つ	○	○	○	5
	定期考査			○	○		1
2 学 期	C 単元 【知識及び技能】 クリエイター、アーティストの作品から学ぶ 【思考力、判断力、表現力等】 作家や作品から発想力や表現力を吸収する 【学びに向かう力、人間性等】 調べて興味深い部分を自分の言葉で発表する	・指導事項 ・教材 PP、一部プリント、一人1台端末 末の活用	【知識・技能】 作品やワードからの検索と資料作成能力 【思考・判断・表現】 収集した資料を本質的なとらえ方によって 取捨選択して人に伝えるための資料作成を行う 【主体的に学習に取り組む態度】 プレゼンテーションによる成果発表	○	○	○	6
	定期考査		なし				
	C 単元 【知識及び技能】 クリエイター、アーティストの作品から学ぶ 【思考力、判断力、表現力等】 作家や作品から発想力や表現力を吸収する 【学びに向かう力、人間性等】 調べて興味深い部分を自分の言葉で発表する	・指導事項 ・教材 PP、一部プリント、一人1台端末 末の活用	【知識・技能】 作品やワードからの検索と資料作成能力 【思考・判断・表現】 収集した資料を本質的なとらえ方によって 取捨選択して人に伝えるための資料作成を行う 【主体的に学習に取り組む態度】 プレゼンテーションによる成果発表	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
3 学 期	E 単元 【知識及び技能】 心理認知学からデザインワークを学ぶ 【思考力、判断力、表現力等】 人の認知や動作を基礎においたデザイン解決策を導き出す 【学びに向かう力、人間性等】 グループワーク・話し合いで解決策を提案する	・指導事項 ・教材 PP、一部プリント、一人1台端末 末の活用	【知識・技能】 心理認知学によるデザイン思考 【思考・判断・表現】 心理認知学によるデザイン思考をもとに造形的解決を行う 【主体的に学習に取り組む態度】 個人のアイディアをもとにグループワークによって全体提案へと昇華させる	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
							合計
							26

高等学校 令和6年度（2学年用） 教科 工業 科目 デザイン概論

教科：工業 科目：デザイン概論 単位数：1 単位

対象学年組：第2学年 D科

教科担当者：（古川）

使用教科書：（自校作成教材）

教科 工業 の目標：

【知識及び技能】各種デザイン表現の基礎的な知識を習得し、制作作業において実践する技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】用途に応じた道具の使い分け、表現技法の選択、応用的な表現力を身に付ける。

【学びに向かう力、人間性等】デザイン制作の役割と責任を理解し、デザインを通じて社会に貢献できる人間性を身に付ける。

科目 デザイン概論 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
各種デザイン表現の基礎的な知識を習得し、制作作業において実践する技能を身に付ける。	用途に応じた道具の使い分け、表現技法の選択、応用的な表現力を身に付ける。	デザイン制作の役割と責任を理解し、デザインを通じて社会に貢献できる人間性を身に付ける。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 単元 写真技術 【知識及び技能】 ICTを活用し知識の定着を促す。 【思考力、判断力、表現力等】 身近な活用例を示し写真技術の意義を理解させる。 【学びに向かう力、人間性等】 実習と連携し、実践力を育む。	・指導事項 写真の歴史、絞り、シャッター、フィルム感度 ・教材 自校作成教材 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 写真技術に関する知識を習得できている。 【思考・判断・表現】 写真技術に関する道具や技法を適切に使い分けられることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 写真技術に興味関心を持ち、意欲的に写真表現に活用することができる。	○	○	○	5
	B 単元 カメラの仕組み 【知識及び技能】 ICTを活用し知識の定着を促す。 【思考力、判断力、表現力等】 身近な活用例を示しカメラの利用用途を理解させる。 【学びに向かう力、人間性等】 実習と連携し、実践力を育む。	・指導事項 カメラの種類、露出計、レンズ、ファインダー ・教材 自校作成教材 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 カメラの構造を理解できている。 【思考・判断・表現】 カメラの機能や技法を適切に使い分けられることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 カメラの仕組みに興味関心を持ち、主体的に写真撮影に取り組むことができる。	○	○	○	5
	C 単元 撮影技法 【知識及び技能】 ICTを活用し知識の定着を促す。 【思考力、判断力、表現力等】 身近な活用例を示し撮影の重要性を理解させる。 【学びに向かう力、人間性等】 実習と連携し、実践力を育む。	・指導事項 構図、ライティング、デジタルデータの取り扱い ・教材 自校作成教材 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 撮影技法の種類と用途を理解できている。 【思考・判断・表現】 各種撮影技法を目的に応じて使い分けられることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 様々な撮影技法に興味関心を持ち、主体的に写真撮影に活用することができる。	○	○	○	5
	定期考査	1学期に学習した内容の習得度合いを確認する。		○	○		
2 学 期	D 単元 知的財産権 【知識及び技能】 ICTを活用し知識の定着を促す。 【思考力、判断力、表現力等】 最新の話題を例に権利の重要性を理解させる。 【学びに向かう力、人間性等】 課題制作を例に実践力を育む。	・指導事項 特許権、意匠権、商標権、著作権 ・教材 自校作成教材 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 知的財産権に関する知識を習得できている。 【思考・判断・表現】 各種権利の種類と役割を理解し、権利の利用と遵守を適切に行うことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 デザイン制作活動において、主体的に権利を活用しようとする姿勢を身に付けている。	○	○	○	8
	E 単元 ウェブデザイン 【知識及び技能】 ICTを活用し知識の定着を促す。 【思考力、判断力、表現力等】 実務を例にウェブデザインの価値を理解させる。 【学びに向かう力、人間性等】 利用者視点の獲得を目指す。	・指導事項 インターネットの歴史、HTMLの構造、ウェブアクセシビリティとユーザビリティ、ウェブブラウザ ・教材 自校作成教材 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 ウェブデザインの背景を理解できている。 【思考・判断・表現】 多様な観点からウェブデザインの良し悪しを判断し、適切な表現ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ウェブデザインに興味関心を持ち、表現の幅を広げようとする姿勢を身に付けている。	○	○	○	8
	定期考査	2学期に学習した内容の習得度合いを確認する。		○	○		
3 学 期	F 単元 ウェブコーディング 【知識及び技能】 ICTを活用し知識の定着を促す。 【思考力、判断力、表現力等】 デザインとコーディングの関係性を理解させる。 【学びに向かう力、人間性等】 演習を交えてプログラミング思考の実践力を育む。	・指導事項 HTML、CSS、JavaScript ・教材 自校作成教材 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 各種プログラミング言語の特徴と役割を理解できている。 【思考・判断・表現】 コーディングの仕組みを理解し、ウェブページ制作に活用できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 新しい技術を意欲的に学び、変化に対応しようとする姿勢を身に付けている。	○	○	○	8
	定期考査	1年間を通じて学習した内容の習得度合いを確認する。		○	○		合計 39

高等学校 令和6年度（2学年用） 教科 工業 科目 デザイン実習

教科： 0 科 目： デザイン実習 単位数： 4 単位

対象学年組：第 2 学年 D 科

教科担当者：（ 写真： 古川 ・ デザイン材料： 伊良原 ・ プロダクトデザイン： 尾引 ）

使用教科書：（ ）

教科 0 の目標：

【知識及び技能】道具・機材の使用に関する技術習得の進歩の度合い

【思考力、判断力、表現力等】専門知識、思考法、素材の理解

【学びに向かう力、人間性等】積極的に活動する態度、自己を向上させようと努力する態度、仲間との協調・協力、諸活動の持続性

科目 デザイン実習 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
各種デザイン表現の基礎的な知識を習得し、制作作業において実践する技能を身に付ける。 写真・デザイン材料・プロダクトデザイン	用途に応じた道具の使い分け、表現技法の選択、基礎的な技術から発展した応用的な表現力を身に付ける。 消費者と企画設計、クリエイターの視点を考え、社会へのデザインの役割を多角的に学	デザイン制作の役割と責任を理解し、デザインを通じて社会に貢献できる人間性を身に付ける。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 単元 【知識及び技能】 ・一眼レフカメラの基本操作 【思考力、判断力、表現力等】 知識 専門知識、思考法、素材の理解 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に活動する態度、自己を向上させようと努力する態度	・指導事項 素材の特徴を活かした表現、ユーザーの要求に応える力 ・教材 自校作成教材 ・一人1台端末の活用 等	A 単元 【知識及び技能】 ・一眼レフカメラの基本操作 【思考力、判断力、表現力等】 知識 専門知識、思考法、素材の理解 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に活動する態度、自己を向上させようと努力する態度	○	○	○	18
	B 単元 【知識及び技能】 ・立体物制作の基礎 【思考力、判断力、表現力等】 知識 専門知識、思考法、素材の理解 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に活動する態度、自己を向上させようと努力する態度	・指導事項 素材の特徴を活かした表現、ユーザーの要求に応える力 ・教材 自校作成教材 ・一人1台端末の活用 等	B 単元 【知識及び技能】 ・立体物複製の基礎 【思考力、判断力、表現力等】 知識 専門知識、思考法、素材の理解 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に活動する態度、自己を向上させようと努力する態度	○	○	○	18
	C 単元 【知識及び技能】 ・マーケティングリサーチについて 【思考力、判断力、表現力等】 知識 専門知識、思考法、素材の理解 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に活動する態度、自己を向上させようと努力する態度	・指導事項 素材の特徴を活かした表現、ユーザーの要求に応える力 ・教材 自校作成教材 ・一人1台端末の活用 等	C 単元 【知識及び技能】 ・マーケティングリサーチについて 【思考力、判断力、表現力等】 知識 専門知識、思考法、素材の理解 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に活動する態度、自己を向上させようと努力する態度	○	○	○	18
2 学 期	A 単元 【知識及び技能】 ・一眼レフカメラの基本操作 【思考力、判断力、表現力等】 知識 専門知識、思考法、素材の理解 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に活動する態度、自己を向上させようと努力する態度	・指導事項 素材の特徴を活かした表現、ユーザーの要求に応える力 ・教材 自校作成教材 ・一人1台端末の活用 等	A 単元 【知識及び技能】 ・一眼レフカメラの基本操作 【思考力、判断力、表現力等】 知識 専門知識、思考法、素材の理解 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に活動する態度、自己を向上させようと努力する態度	○	○	○	18
	B 単元 【知識及び技能】 ・立体物制作の基礎 【思考力、判断力、表現力等】 知識 専門知識、思考法、素材の理解 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に活動する態度、自己を向上させようと努力する態度	・指導事項 素材の特徴を活かした表現、ユーザーの要求に応える力 ・教材 自校作成教材 ・一人1台端末の活用 等	B 単元 【知識及び技能】 ・立体物制作の基礎 【思考力、判断力、表現力等】 知識 専門知識、思考法、素材の理解 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に活動する態度、自己を向上させようと努力する態度	○	○	○	18
	C 単元 【知識及び技能】 ・工業製品の提案 【思考力、判断力、表現力等】 知識 専門知識、思考法、素材の理解 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に活動する態度、自己を向上させようと努力する態度	・指導事項 素材の特徴を活かした表現、ユーザーの要求に応える力 ・教材 自校作成教材 ・一人1台端末の活用 等	C 単元 【知識及び技能】 ・工業製品の提案 【思考力、判断力、表現力等】 知識 専門知識、思考法、素材の理解 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に活動する態度、自己を向上させようと努力する態度	○	○	○	18
	A 単元 【知識及び技能】 ・一眼レフカメラの基本操作 【思考力、判断力、表現力等】 知識 専門知識、思考法、素材の理解 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に活動する態度、自己を向上させようと努力する態度	・指導事項 素材の特徴を活かした表現、ユーザーの要求に応える力 ・教材 自校作成教材 ・一人1台端末の活用 等	A 単元 【知識及び技能】 ・一眼レフカメラの基本操作 【思考力、判断力、表現力等】 知識 専門知識、思考法、素材の理解 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に活動する態度、自己を向上させようと努力する態度	○	○	○	18

高等学校 令和6年度（2学年用） 教科 工業 科目 造形技術基礎

教科：工業 科目：造形技術基礎 単位数：2 単位

対象学年組：第 2 学年 D 科

教科担当者：（ 文字デザイン： 高野 ・ デッサン： 森 ）

使用教科書：（ デザインの実践 ）

- 教科 工業 の目標：
- 【知識及び技能】デザインに関する基礎・基本とデッサンの応用を理解し、技法を習得する。

【思考力、判断力、表現力等】基礎・基本を理解した上で活用する状況や方法について身に付けさせる。

【学びに向かう力、人間性等】積極的に授業参加し、実習や将来に対して活用できるようにする。

科目 造形技術基礎 の目標：	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
	レタリングの基礎知識を学び、文字組やフォントの基礎を生かした技術向上を目指す。基礎デッサンから発展し、視点を変えた構図・定型にとられない構図を学ぶ。	文字組のルールを生かし、効果的に配置する表現力を学ぶ。美しさと機能性を考えたデザイン技術を向上させる。	商品化を意識し、プロダクトデザインにおいて使用者に配慮したデザインの思考を学ぶ。デッサンでは表現力と伝える力を培う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 単元 レタリング検定 【知識及び技能】 検定問題の課題を理解させる。文字の基礎や印刷についての知識を学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 課題の趣旨を理解し短時間で表現できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に課題を解決し、検定に合格できるようにする。	・指導事項 検定内容を理解させる。 用具を使用する基礎技術力を付ける。 指定通りに配置できる。 時間内に丁寧にレタリングができる。 ・フリーハンド ・拡大視写 ・和文書体	【知識・技能】 検定内容を理解しているか。 文字割のルールが理解できているか。 【思考・判断・表現】 求められている項目を理解し、適切に処理をして、時間内に完成させることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 何度も積極的に挑戦し、気付きを得ようとする。何度もトライし、改善して時間短縮を目指す。	○	○	○	26
	B 単元 パッケージデザイン 【知識及び技能】 パッケージの基本（包む・運搬する・守る）を理解する。 機能について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 課題の趣旨を理解した上で目的に合ったデザインを表現できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 美しさを兼ね備えた合理性のある商品へ、その両立のための課題を解決し、より良いデザインを目指す。	・指導事項 パッケージの基本機能について理解する。 市場調査により実用品の優れた点を調査する。 一人1台端末の活用 教科書「デザイン実践」	【知識・技能】 パッケージの基本機能を理解し、デザインに生かすことができる。 【思考・判断・表現】 作品の問題点を考え、改良をすることができる。 使用者の側に立った視点を持つことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 プレゼンによるパッケージの紹介により互いのデザインを積極的に理解しようとする。自らデザインの改良に積極的に取り組む。	○	○	○	26
2 学 期	C 単元 デッサン 【知識及び技能】 様々なデッサンの技法を知り、実践する。 鉛筆と消しゴムの逆転発想による表現方法を学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 課題の趣旨を理解した上で目的に合ったデッサン技法を使用し、表現できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 表現力を高めるための工夫をする。	・指導事項 ・定型外の構図を理解する。 ・構図に合わせたモチーフを考える。 ・グレージングによる表現方法を知る。 ・鏡による歪みの表現を知る。 ・言葉（フレーズ）と合わせた表現方法を学ぶ。 ・天然素材（葉）にクローズアップした表現を学ぶ	【知識・技能】 課題内容を理解しているか。 課題条件に合わせたモチーフを選び表現できているか。 【思考・判断・表現】 与えられた条件を生かし、適切な表現ができているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 何度も積極的に挑戦し、気付きを得ようとする。 より良い表現の為に工夫しながら作業をしているか。	○	○	○	26
3 学 期							合計
							78

高等学校 令和6年度（2学年用） 教科 工業 科目 デザイン表現(印刷)

教科：工業

科目：デザイン表現(印刷)

単位数：2 単位

対象学年組：第 2 学年 D 科

教科担当者：（ 降矢 ）

使用教科書：（ ）

教科 工業

の目標：

【知識及び技能】デザインワークに欠かせない印刷技法において基礎的な知識と技術を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】版画による化学的な版式の原理・技法を理解し、デジタルにはない表現力を身につける。

【学びに向かう力、人間性等】作業を通して協力体制作りとコミュニケーションの重要性を体得する。

科目 デザイン表現(印刷)

の目標：旧式の印刷表現を学習することで現代のDTPと比較し、それぞれの良さを抽出できている。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
印刷（平版、凹版）の基礎を学び、手作業による製版とプレス機の操作法を習得する。技法に見合った絵柄の工夫や演出がされている。	版画による化学的な版式の原理・技法を理解し、デジタルにはない表現力を身につける。道具の扱い方及び安全面や班員への配慮ができ、迅速に行動できる等の判断力を身につける。	道具の清掃をはじめ共同作業を通して、協力と協調性の意義やコミュニケーションの重要性を工程の中で体感し修得する。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 単元 孔版 「シルクスクリーン」 【知識及び技能】 ・製版方法の理解、用紙の準備 ・アイデアスケッチの充実 【思考力、判断力、表現力等】 ・スケジュール工程と作業組立 ・紗張りを用いた版式の原理と、各使用色ごとのレイヤー分け(フィルム制作)についての理解 【学びに向かう力、人間性等】 ・用紙の準備 ・片付け、清掃	・指導事項 基本となる4つの印刷方式について作品の鑑賞を交えて学習させる。 。コスト面、手触りや色褪せないシルクスクリーンと、オフセット印刷の違いを比較させる。 版画のコンペに応募することを一つの動機付けにする。 ・教材 シルクスクリーン印刷による、実際に使用された複数のポスター等資料 フィルムシート 手描き用オベークインク、ペン 感光乳剤	【知識・技能】 凸版、凹版、平版、孔版の違いについての基礎的な知識 コンセプトの立案とアイデアスケッチへの取り組み フィルム制作時の色分解 【思考・判断・表現】 2色展開による孔版の特徴を作品へ活かしたデザイン 道具の扱い方と理解 【主体的に学習に取り組む態度】 印刷準備における手順理解と行動 刷り台1台につき4名が対応するため、役割分担が発生する 互いへの協力的姿勢と道具の扱いに対する責任感	○	○	○	13
	A 単元 【知識及び技能】 ・描画によるフィルム作成 ・製版の仕組みと手順の修得 ・インクの作り方や溶剤の分量 ・デザインにおけるグラデーションの効果 ・トレース台の使い方 ・オベークインクの使い方 【思考力、判断力、表現力等】 ・スケジュール工程と作業組立 ・2色で展開するデザイン 【学びに向かう力、人間性等】 ・印刷の準備 ・片付け、清掃	・指導事項 版のズレができるだけ起こらないような構成とリスクを避ける工夫について説明し、理解を促す。 各生徒の進度に合わせた刷り順とグループ決めを行う。 ・教材 トレース台 フィルムシート 手描き用オベークインク、ペン 1台の刷り台に4名が対応 感光乳剤 スキージ 版画用インクと溶剤 スプレーのり 溶剤用手袋	【知識・技能】 フィルム制作時の色分解 オベークインクの使い方（塗り方） 色彩バランス（構成力） 溶剤等の安全と正確な取り扱いができています 【思考・判断・表現】 2色展開による孔版の特徴を作品へ活かしたデザイン 道具の扱い方と理解 【主体的に学習に取り組む態度】 互いへの協力的姿勢と道具の扱いに対する責任感 実習時間を逆算した進捗と周知 道具の片付け	○	○	○	13
2 学 期	A 単元 ・インクの作り方や溶剤の分量 ・製版の仕組みと手順の修得 ・スキージの扱い（グラデーションで刷る場合の工程の違い）への理解 ・手際の良さ ・落版の手順 【思考力、判断力、表現力等】 ・スケジュール工程と作業組立 ・2色で展開するデザイン 【学びに向かう力、人間性等】 ・印刷の準備 ・片付け、清掃	・指導事項 溶剤を用いたインクの丁合 安全で正確な取り扱い方をしているか。 換気の徹底。 ・教材 手描き用オベークインク、ペン 1台の刷り台に4名が対応 感光乳剤 スキージ 版画用インクと溶剤 スプレーのり 落版用クリーナー 高圧洗浄機	【知識・技能】 溶剤やクリーナーの安全と正確な取り扱いができています プレゼンテーション 【思考・判断・表現】 2色展開による孔版の特徴を作品へ活かしたデザイン 道具の扱い方と理解 【主体的に学習に取り組む態度】 印刷準備における手順理解と行動 刷り台1台につき4名が対応するため、役割分担が発生する 互いへの協力的姿勢と道具の扱いに対する責任感 実習時間を逆算した進捗と周知 道具の片付け	○	○	○	26
	B 単元 凹版 アクアチント（エッチング） 【知識及び技能】 ・エッチングとの表現比較 ・防蝕処理、グラント塗布、腐食についての知識 【思考力、判断力、表現力等】 ・スケジュール工程と作業組立 【学びに向かう力、人間性等】 ・印刷、用紙の準備 ・片付け、清掃	・指導事項 エッジの効いた線画と面の腐食についての特徴を丁寧に説明する。 ニードルの扱いについての安全指導を行う。 ・教材 銅版 カーボン紙 ニードル ルーレット 松脂の粉末 グラント（蜜蝋） 塩化第二鉄 等	【知識・技能】 版画用薬剤等の安全と正確な取り扱いができています ニードルによる繊細で精密な表現ができています プレゼンテーション 【思考・判断・表現】 道具の扱い方と理解による作品表現 【主体的に学習に取り組む態度】 印刷準備における手順理解と行動 互いへの協力的姿勢と道具の扱いに対する責任感 実習時間を逆算した進捗と周知	○	○	○	26
3 学 期							合計
							78

高等学校 令和6年度（2学年用） 教科 工業 科目 デザイン表現(デッサン)

教科：工業 科目：デザイン表現(デッサン) 単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 D科

教科担当者：（伊良原）

使用教科書：（）

教科 工業 の目標：

【知識及び技能】デッサンの基礎及び発展的な知識を習得し、制作作業において実践する技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】用途に応じた道具の使い分け、表現技法の選択、応用的な表現力を身に付ける。

【学びに向かう力、人間性等】美大進学を意識した学びを通して、表現の幅を広げ自己実現に向けた力を培う。

科目 デザイン表現(デッサン) の目標：	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
	各種デザイン表現に必要なデッサン知識を習得し、制作作業において実践する技能を身に付ける。	用途に応じた道具の使い分け、表現技法の選択、応用的な表現力を身に付ける。	デザイン制作の役割と責任を理解し、デザインを通じて社会に貢献できる人間性を身に付ける。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	単元 デッサン 【知識及び技能】 様々な素材をかき分けるデッサン技法を知り、実践する。 画面の効果的な見せ方、構図の活かし方を学び、実践する。 【思考力、判断力、表現力等】 課題の趣旨を理解した上で透視図法などの遠近法を生かし、表現できるようにする。 それぞれの素材を表現する技法を身に着ける。 【学びに向かう力、人間性等】 表現力を高めるための工夫をする。	・指導事項 素材をかき分ける ・足とひざ ・静物デッサン（組み）	【知識・技能】 課題内容を理解しているか。 素材をかき分けられているか。 明暗をかき分けられているか。 【思考・判断・表現】 構図の工夫により適切な表現ができているか。 適切な道具が使用できているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 何度も積極的に挑戦し、気付きを得ようとする。 より良い表現の為に工夫しながら作業をしているか。	○	○	○	13
		・指導事項 素材をかき分ける 構図を学ぶ 石膏デッサン	【知識・技能】 課題内容を理解しているか。 素材をかき分けられているか。 構成を意識した画面使いができているか。 【思考・判断・表現】 構図の工夫により適切な技法が使用されて表現できているか。 適切な道具が使用できているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 より良い表現の為に工夫しながら作業をしているか。 ほかの人の作品から学ぶ姿勢が持てているか。	○	○	○	13
2 学 期		石膏デッサン講評 模写 卓上デッサン	【知識・技能】 課題内容を理解しているか。 素材をかき分けられているか。 構成を意識した画面使いができているか。 円（筒）の表現が適切か。 【思考・判断・表現】 構図の工夫により適切な技法が使用されて表現できているか。 適切な道具が使用できているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 より良い表現の為に工夫しながら作業をしているか。 ほかの人の作品から学ぶ姿勢が持てているか。				26
			【主体的に学習に取り組む態度】 より良い表現の為に工夫しながら作業をしているか。 ほかの人の作品から学ぶ姿勢が持てているか。				
3 学 期		・指導事項 ・多種多様な素材、題材のモチーフを描く ・静物（囲み）	【知識・技能】 課題内容を理解しているか。 素材をかき分けられているか。 構成を意識した画面使いができているか。 円（筒）の表現が適切か。 【思考・判断・表現】 構図の工夫により適切な技法が使用されて表現できているか。 適切な道具が使用できているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 より良い表現の為に工夫しながら作業をしているか。 ほかの人の作品から学ぶ姿勢が持てているか。				26
			【主体的に学習に取り組む態度】 より良い表現の為に工夫しながら作業をしているか。 ほかの人の作品から学ぶ姿勢が持てているか。				78

高等学校 令和 6 年度（3 学年用） 教科 工業 科目 課題研究

单位数： 5 单位

単元の評価規準：

実施予定： 4 月 2 週 ~ 3 月 2 週

	具体的な指導目標	指導項目・内容	知	思	態	評価の方法	配当 時数
1 学 期	映像 プロダクトデザイン グラフィックデザイン デッサン	番組制作 企画書、絵コンテ制作、撮影 アイディア展開、製図、モックアップ制作 アドバタイジングについて学ぶ 鉛筆やコンテを使用したデッサンによる素描の基 礎技術、画面構成、質感描写等	○	○	○	演習、提出物	35
	道具の正しい扱い方 発想力の向上	(グループ制作) CM企画 撮影・編集作業 モックアップ制作 チームで広告を起案 アクリルガッシュ等を使用した色彩構成。画面構 成、色彩調和等のトレーニング	○	○	○	演習、提出物	35
2 学 期	道具の正しい扱い方 発想力の向上	CM企画・編集 レンダリング、モデリング、プレゼンテーション 各自の卒業制作企画・制作 大学などの推薦入試・実技入試対策、自画像デッ サン・静物デッサン	○	○	○	演習、提出物	35
	発表力の向上 展示技術の向上	CM企画・編集 レンダリング、モデリング、プレゼンテーション 各自の卒業制作企画・制作 大学などの推薦入試・実技入試対策、自画像デッ サン・静物デッサン	○	○	○	演習、提出物	35
3 学 期	発表力の向上 展示技術の向上	各自の卒業制作 大学などの推薦入試・実技入試対策、自画像デッ サン・静物デッサン	○	○	○	演習、提出物、卒展展示	20 合計 160

高等学校 令和6年度（3学年用）教科		デザイン	科目 デザイン史			
教 科：	デザイン	科 目：	デザイン史			
対象学年組：第 3 学年 D 組～		単位数：	2 単位 2			
教科担当者：(D組：高野)	(組：	(組：	(組：			
使用教科書：(			)			
教科 デザイン	の目標：					
【知 識 及 び 技 能】古代から現代へのデザイン作品について時代背景を含めて知識を深める。						
【思考力、判断力、表現力等】作品について知り得た知識を使い、人に伝えるよう自らの言葉で解説できる表現力を養う。						
【学びに向かう力、人間性等】時代ごとの作品についてより深く知るために自ら課題意識を持ち、調べ学ぶ態度を育てる						
科目 デザイン史	の目標：					

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
①古代から現代までの造形活動と社会の関わりを知る。 近代デザイン史から現在のデザイン活動との繋がり理解する	①造形活動と社会のかかわりを知り、各時代の作品の特徴と背景について理解する。自ら解説できる表現力を養う。 ②調べ学習において自らのテーマに合わせて適切な調査やまとめを行うことができる。	①それぞれの時代の流れやデザイン活動について積極的な問題点を探し、学習に取り組む態度。 ②デザイン作品について興味関心を持って授業へ能動的に向き合う姿勢や態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 時 数
1 学 期	・原始、古代の海外における造形活動と社会の関わりを知り、文明のデザインから読み解く ・テーマ史(古代文明) ・小論文「空想上の生物について」	西洋の造形 原始・エジプト・メソポタミア 原始、旧石器時代の西洋における造形活動と人々の営みの関わりを知る 小論文執筆	【知識・技能】 ・各テーマの作品について関連付けて考えられているか。 【思考・判断・表現】 ・論文のテーマに沿って文章の組み立てができているか 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業への発言などの参加態度 ・ノートをしっかりと話し話を聞いているか ・調べ学習への参加態度	○	○	○	12
	・古代オリエント、ギリシャなど宗教的美術作品から造形の歴史と意義を学ぶ ・小論文「空想上の生物について」 ・イラスト制作	西洋の造形 ローマ・初期キリスト教 小論文執筆	【知識・技能】 ・各テーマの作品について関連付けて考えられているか。 【思考・判断・表現】 ・論文のテーマに沿って文章の組み立てができているか 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業への発言などの参加態度 ・ノートをしっかりと話し話を聞いているか ・調べ学習への参加態度	○	○	○	12
2 学 期	・近世の作品からキリスト教美術、宗教シンボルを理解し、当時の美術界の動きを理解する ・調べ学習	西洋の造形 初期キリスト教 ビザンチン・イスラム 調べ学習 「世界のお守り」	【知識・技能】 ・各テーマの作品について関連付けて考えられているか。 【思考・判断・表現】 ・論文のテーマに沿って文章の組み立てができているか 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業への発言などの参加態度 ・ノートをしっかりと話し話を聞いているか ・調べ学習への参加態度	○	○	○	12
	・ローマネスク・ゴシック時代の建築物から歴史的特徴やデザインを学ぶ ・調べ学習	西洋の造形 ロマネスク・ゴシック・ルネッサンス 調べ学習 「世界のお守り」	【知識・技能】 ・各テーマの作品について関連付けて考えられているか。 【思考・判断・表現】 ・論文のテーマに沿って文章の組み立てができているか 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業への発言などの参加態度 ・ノートをしっかりと話し話を聞いているか ・調べ学習への参加態度	○	○	○	12
3 学 期	・近世の日本における造形活動と人々の営みの関わりを知り、現代の日本文化の礎を先人に習う ・調べ学習	西洋の造形 バロック・新古典主義・アールヌーボー 調べ学習 「各時代の画家と作品について」	【知識・技能】 ・各テーマの作品について関連付けて考えられているか。 【思考・判断・表現】 ・論文のテーマに沿って文章の組み立てができているか 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業への発言などの参加態度 ・ノートをしっかりと話し話を聞いているか ・調べ学習への参加態度	○	○	○	12
	・各時代の特徴的なデザインについて学び、文明のデザインから現代への関係性を読み解く ・調べ学習	西洋の造形 サグラダファミリア アールデコ 調べ学習 「各時代の画家と作品について」	【知識・技能】 ・各テーマの作品について関連付けて考えられているか。 【思考・判断・表現】 ・論文のテーマに沿って文章の組み立てができているか 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業への発言などの参加態度 ・ノートをしっかりと話し話を聞いているか ・調べ学習への参加態度	○	○	○	4
							合計
							64

年間授業計画

高等学校 令和6年度（3 学年用） 教科

デザイン 科目 デザイン実践

教 科： デザイン 科 目： デザイン実践

単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 学年 D 組～ 組

教科担当者：D 科：有村 徹：森 恵美子

使用教科書：（ デザイン実践 ）

教科 デザイン の目標：

【知 識 及 び 技 能】プロダクトデザイン、グラフィックデザインの歴史や変化の背景など時代に沿った知識を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】デザインを実践するにあたりユーザーに寄り添うことや、表現方法の基礎的技術を身に付ける。

【学びに向かう力、人間性等】授業に意欲的に取り組み、社会とのつながりを意識した姿勢づくりを身に付ける。

科目 デザイン実践 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
プロダクトデザイン、グラフィックデザインの歴史や時代に沿った変化の背景などを学ぶ。広告の表現方法や印刷の基礎、デザインの発想方法などを知る。	集団討論やアイディアの発想方法を通してデザインに対する表現力を身に付ける。ユーザーを意識した制作活動の判断力を養う。	授業内のグループワークに意欲的に取り組み、社会とのつながりを意識した姿勢づくりを身に付ける。対象者を考慮したものづくりや社会情勢を考える力など意識づくりを持たせる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 単元 【知識及び技能】 コミュニケーションの理論 マスコミの理論 【思考力、判断力、表現力等】 各カテゴリーの目的の理解 【学びに向かう力、人間性等】 社会の中で実際に発見する能動性	・指導事項 コミュニケーションの理論 マスコミの理論 ・教材 プリント、教科書	【知識・技能】 コミュニケーションの理論 マスコミの理論 【思考・判断・表現】 各領域の目的を理解する 【主体的に学習に取り組む態度】 実際に観察して理解を深め、興味・関心を持つ	○	○	○	12
	A 単元 【知識及び技能】 広告の概論 【思考力、判断力、表現力等】 作家や作品から発想力や表現力を吸収する 【学びに向かう力、人間性等】 社会の中で実際に発見する能動性	・指導事項 広告の理論 ・教材 プリント、教科書	【知識・技能】 広告の理論 【思考・判断・表現】 各領域の目的を理解する 【主体的に学習に取り組む態度】 実際に観察して理解を深め、興味・関心を持つ	○	○	○	12
	定期考査						
	C 単元 【知識及び技能】 編集デザイン、印刷原理と技術 【思考力、判断力、表現力等】 古来からのものづくりや技術などを学ぶ 【学びに向かう力、人間性等】 調べて興味深い部分を自分の言葉で発表する	・指導事項 編集デザイン、印刷原理と技術 ・教材 プリント、教科書	【知識・技能】 作品などから原理と技術を学ぶ 【思考・判断・表現】 古来からの技術を得て、現在のものづくりに生かす 【主体的に学習に取り組む態度】 プレゼンテーションによる成果発表	○	○	○	12
2 学 期	C 単元 【知識及び技能】 プロダクトデザインの誕生から現在まで社会的背景の知識を得る 【思考力、判断力、表現力等】 歴史的背景や社会情勢を判断し、それに沿った表現を学ぶ 【学びに向かう力、人間性等】 時代に沿ったデザイナーとしての役割	・指導事項 プロダクトデザインの歴史と背景 ・教材 教科書、プリント、スライド資料	【知識・技能】 プロダクトデザインの歴史と背景 【思考・判断・表現】 時代の背景を反映したものづくりを表現できている 【主体的に学習に取り組む態度】 デザイナーとしての役割を言葉で表現できている	○	○	○	12
	定期考査						
3 学 期	E 単元 【知識及び技能】 デザイン発想法 【思考力、判断力、表現力等】 課題解決に向けて、他者と話し合い意見の共有、発想をする。 【学びに向かう力、人間性等】 グループワーク・話し合いで課題解決を提案する	・指導事項 デザイン発想法 ・教材 教科書、プリント、スライド資料、デジタル活用端末	【知識・技能】 デザイン発想法 【思考・判断・表現】 ブレインストーミングを通して意見のやり取りができています 【主体的に学習に取り組む態度】 デザイン発想法などを活用し、課題解決に向けた話し合いができています。	○	○	○	12
	E 単元 【知識及び技能】 環境問題とプロダクトデザイン 【思考力、判断力、表現力等】 環境問題の知識を得て、社会的背景を見越したモノづくりを考える 【学びに向かう力、人間性等】 これからのプロダクトデザインについて考える	・指導事項 デザイン発想法 ・教材 教科書、プリント、スライド資料	【知識・技能】 環境問題とプロダクトデザイン 【思考・判断・表現】 環境問題の知識を得て、それを活かしたものづくりを計画できている 【主体的に学習に取り組む態度】 デザイナーとして社会の役割を担えるようなものづくりを考えている	○	○	○	4
							合計 64

年間授業計画

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 デザイン 科目 デザイン計画A

教 科： デザイン 科 目： デザイン計画A 単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 学年 D 組～ 組

教科担当者：（D組：尾引 ）

使用教科書：（ なし ）

教科 デザイン の目標：

- 【知 識 及 び 技 能】 ポートフォリオの機能や役割、作品集制作のワークフローについて理解する。
- 【思考力、判断力、表現力等】 ポートフォリオの果たすべき機能を理解し、個々の目的に適った作品集を作成する。
- 【学びに向かう力、人間性等】 他者の意見やアドバイスを消化し、コンセプトに従って客観的、俯瞰的に考察する。

科目 デザイン計画A	の目標：
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】
ポートフォリオの機能や役割、作品集制作のワークフローについて理解する。	内容をより魅力的に見せるために誌面を工夫し、個々の進路希望にかなうデザインを考える。
【学びに向かう力、人間性等】	他者の意見やアドバイスを消化し、コンセプトに従って客観的、俯瞰的に考察する。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	年間計画作成	・ポートフォリオ制作の目的を明確にする ・作品撮影における留意点 ・キャプションにおける留意点 ・ポートフォリオに必要な作品制作計画	・ポートフォリオの機能や役割を理解する。 ・自分ブランドが表現できる企画をする。 進路先に応じた効果的な作品構成をする。	○	○	○	12
	ポートフォリオ制作 ポートフォリオ発表	・ポートフォリオに必要な作品制作 ・作品撮影 ・ポートフォリオを用いたプレゼンテーション ・講評会	・客観的に自分ブランドが表現できるか。 ・進路先に応じた効果的な作品を選択したか。	○	○	○	12
2 学期	ポートフォリオとプレゼンテーション	・追加的作品制作・撮影 ・講評会をふまえたプレゼンツール手直し ・ポートフォリオを使用した面接練習	・作品の撮影、掲載方法、レイアウトは丁寧か。 ・画像サイズ、キャプション、カラーリングなどは効果的か。	○	○	○	12
	プレゼン及びグループ討論練習	・追加的作品制作・撮影 ・プレゼンテーションスキル研究 ・ポートフォリオを使用した面接練習	・進路先に応じたポートフォリオが完成したか。 ・面接時に効果的な構成や作品選択であるか。	○	○	○	12
3 学期	改良ポートフォリオ発表と講評会	・プレゼンテーションスキル研究 ・講評会	・客観的、俯瞰的に自分ブランドが伝わったか。 ・これまで学んできたデザインスキルが発揮されているか。	○	○	○	16
							合計
							64

年間授業計画

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 デザイン 科目 デザイン計画B

教 科： デザイン 科 目： デザイン計画B 単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 学年 D 組～ 組

教科担当者：（D組：古川 ）

使用教科書：（ ）

教科 デザイン の目標：

【知識及び技能】 Web制作ソフトやプログラミング、Web表現技法などにおいて基礎的技術を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】 課題に対して深く考え、適切な表現方法を判断し、多角的な観点で制作する力を培わせる。

【学びに向かう力、人間性等】 課題制作に意欲的に取り組み、社会とのつながりを意識した姿勢づくりを身に付ける。

科目 デザイン計画B の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
Webデザインに関する知識や表現方法について学び、プログラミングの基礎、活用方法を習得する。サイト制作を通して企画の立案や表現方法の工夫など実社会を通じた作品作りを学ぶ。	それぞれの作品の完成度や表現方法を高める技術を活かし、思考力・判断力・表現力を身に付ける。その他の制作作業の応用として自信で考え展開できるよう繋げる。	課題制作に意欲的に取り組み、社会とのつながりを意識した姿勢づくりを身に付ける。対象者を考慮したものづくりや社会情勢を考える力など意識づくりを持たせる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	・インタラクティブメディアの制作プロセスを理解する ・基本操作の習得する ・Webページを企画設計する	・Webデザインオリエンテーション (Webデザインとは) ・Web言語について ・企画書作成 ・デザイン案作成	【知識・技能】 ・ソフトの基礎知識 ・標準規格の理解 【思考・判断・表現】 ・アイデア、プロトタイプモデル 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業への参加意欲、関心、積極性	○	○	○	12
	・HTMLの基本知識の習得する ・CSSの基本知識の習得	・HTML講義 ・CSS講義 ・Visual Studio Codeの操作説明 ・Figmaの操作説明 ・トップページ編集	【知識・技能】 ・プログラミングの基礎知識 ・作業の丁寧さ 【思考・判断・表現】 ・技術やツールの使い分け 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業への参加意欲、関心、積極性	○	○	○	12
2 学 期	・CSSの応用知識の習得 ・JavaScriptの基本知識の習得	・CSS応用講義 ・下層ページA編集 ・プラグイン講義 ・jQuery講義 ・下層ページB編集	【知識・技能】 ・情報技術の基礎知識 ・作業の丁寧さ 【思考・判断・表現】 ・技術やツールの使い分け 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業への参加意欲、関心、積極性	○	○	○	12
	・モバイルサイト対応技術の習得	・レスポンシブWebデザイン講義 ・サイトの作り込み	【知識・技能】 ・UI/UXの基礎知識 ・作業の丁寧さ 【思考・判断・表現】 ・スケジュールと計画性 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業への参加意欲、関心、積極性	○	○	○	12
3 学 期	・Webサイトの評価	・サイトのブラッシュアップ ・作品発表・講評	【知識・技能】 ・サイト評価の基礎知識 ・作業の丁寧さ 【思考・判断・表現】 ・スケジュール管理 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業への参加意欲、関心、積極性	○	○	○	16
							合計
							64

年間授業計画

高等学校 令和6年度（3学年用）教科

デザイン 科目 デザイン研究A

教科： デザイン 科目： デザイン研究A

単位数： 4 単位

対象学年組：第 学年 組～ 組

教科担当者：（D組：森 ）

使用教科書：（ ）

教科 デザイン の目標：

【知識及び技能】・デザインの力を知り表現する技能を学ぶ

【思考力、判断力、表現力等】・社会におけるイラストレーションの役割を認識する

【学びに向かう力、人間性等】・他人を理解し、共同による制作の意義を学ぶ

科目 デザイン研究A の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
様々な画材と表現方法を理解する。 イラストの目的を理解する 目的を達成するために適した描写技術を身に着ける	社会におけるイラストレーションとデザインの役割を考え、表現力を育む。	グループワークによる制作を通して他者を理解する態度を育てる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	イラストレーション技法	【イラストとは】 ・日常にあふれるデザインの実例をもとに様々な画材の性質を知る ・様々な描画テクニックについて知る ・スマスク端末の活用	【知識・技能】 描画テクニックについて理解できている。 【思考・判断・表現】 商品リサーチからデザインの役割をより深く考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に学び意欲的に取り組んでいる。	○	○	○	32
	イラストレーション技法	【イラストの役割】 ・映画や展示会のフライヤーを持ち寄り、イラストの技法について学ぶ ・様々な描画テクニックについて知る ・スマスク端末の活用	【知識・技能】 描画テクニックについて理解できている。 【思考・判断・表現】 商品リサーチからデザインの役割をより深く考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に学び意欲的に取り組んでいる。	○	○	○	28
2 学期	イラストレーション技法	【版画イラストレーション】 ・ポスターやフライヤーの版画イラストからその表現について学ぶ ・版画の技法演習 ・版画イラストレーションからの発展	【知識・技能】 版画イラストについて知識・技能を身に付けている 【思考・判断・表現】 リサーチから得た知識を自己の表現に結び付けて表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に学び意欲的に取り組んでいる。	○	○	○	32
	イラストレーション技法	【イラストを生かした商品計画】 ・実店舗リサーチ、報告 ・消費者とデザイナーの視点について学ぶ ・イラストを生かした商品づくり	【知識・技能】 授業内容を理解したリサーチ報告ができている 【思考・判断・表現】 知識技能を自己の表現に結び付けて表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に学び意欲的に取り組んでいる。	○	○	○	28
3 学期	イラストレーション技法	【鑑賞】 ・プロの技法と作品に触れる ・展覧会からの発想 ・スマスク端末の活用	【思考・判断・表現】 プロの作品から社会で必要とされるイラストデザインについて読み取ることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に学び意欲的に取り組んでいる。		○	○	28
	イラストレーション技法	【鑑賞】 ・プロの技法と作品に触れる ・展覧会からの発想 ・スマスク端末の活用	【思考・判断・表現】 プロの作品から社会で必要とされるイラストデザインについて読み取ることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に学び意欲的に取り組んでいる。		○	○	12
							合計 160

